

東山区ボランティアセンターだより

区内の
団体を紹介

NPO法人 HOPE300 地域清掃活動に取り組んでいます。

HOPE300は、海外からの留学生に、進学や生活面の継続的なサポートを行っています。バザーや運動会、異文化交流会等を企画し、地域の方と留学生がつながる機会を提供しています。そうした活動の一環として鴨川周辺の清掃活動を定期的に行い、留学生の社会貢献を応援しています。この取り組みを通じて留学生と地域とのつながりが出来ることを願っています。どなたでも参加できます。一緒に清掃活動してみませんか？



- 日時** 毎月第3日曜日 午後3時から
- 場所** 京都宣教教会
京都市東山区福稲柿本町27-1
- 連絡先** asiahope300kyoto@gmail.com

ボランティア活動にはボランティア保険を！

活動中の事故(ケガをした、させた)に備える保険があります。安心して活動するために、ぜひご加入ください。区社協で申込みできます。



くらしを助けるお手伝い
日常生活自立支援事業

生活支援員募集！



お手伝い内容

募集対象

活動頻度

- 福祉サービスの利用に関する相談を受け、情報提供する。
- 家計相談や必要な支払いへの助言
- 支払いの同行や代行
- 郵便物の管理

- 資格がなくても活動できます
- 京都市内在住の方
- 満30歳以上、満75歳未満の方
(民生委員や福祉サービス従事者は除く)

- 1回の支援はおおむね1時間から1時間30分
- 利用者の希望にあわせて週1回～月1回程度

日常生活自立支援事業とは

高齢や障害などで、ひとりで判断することに不安を感じる方の福祉サービス利用や日常的な金銭管理を、ご本人の意思に基づいて支援します。

社会福祉法人 京都市東山区社会福祉協議会

〒605-0863
京都市東山区五条通大和路東入5丁目梅林町576-5
「やすらぎ・ふれあい館」内
TEL:075-551-4849 FAX:075-551-4858
e-mail:higashi@kcsw.jp



ホームページ



Instagram



みんなの街「東山区」の福祉情報をお届けします！

編集・発行/社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会

ひがしやま

Vol.23
2022年2月



子育てサークル
子育てコミュニティベースin東山
「ひなたぼっこ」



高齢者の健康・いきがづくり
「ガーデンde東山」



地域の交流の場
「Caféほのぼの」



介護予防
「健康すこやか学級」

暮らしの中の身近なところで活動しています

東山区社会福祉協議会(以下、区社協)では、「第4期 東山区地域福祉活動計画」(以下、活動計画)がスタートしてから2年目を迎えました。「お互いを認め合い、お互いに支え合い、お互いが集い合える心ゆたかな“ひがしやま”を目指し、地域の方・ボランティア・学区社会福祉協議会・民生児童委員・福祉事業所や施設などとともに、地域のつながりづくりを進めてきました。

現在、コロナ禍において地域活動やボランティア活動の自粛が余儀なくされる中、人と人とのつながりを絶やさないための取り組みが展開されています。

今回は、区社協が収集したコロナ禍での取り組みについて、活動計画の重点課題に合わせて紹介します。今後、これらの取り組みを通してさらなる活動の発展を願っています。

目標1 住民主体の地域福祉活動の推進と学区社協重点目標の推進

一橋学区:

「地域の子どもに会いたい! マスクを持って子ども世帯訪問」

これまで一橋社会福祉協議会の訪問活動は高齢者を対象としていましたが、今回は子どものいる世帯を対象に、使い捨てマスクをお渡しされました。

Q なぜ子どものいる世帯を対象にしたのでしょうか?

近年において子どもへの虐待が問題となっている中、自分の住む地域だけでも子どもたちのことを知ろうと思い、子どものいる世帯を訪問することにしました。

Q なぜマスクを配布することにしたのでしょうか?

ある親御さんから、「子どもたちのマスクがすぐにドロドロになるので、何枚あっても嬉しい。」という声を聞き、学校にもご協力いただいて配布しました。

Q 訪問の様子はどうでしたか?

突然の訪問に驚かれましたが、中には、「引っ越してきたばかりなので声を掛けてもらえて嬉しかった」と喜ばれた方もいました。

Q 子ども世帯を対象にした訪問活動の感想は?

社会福祉協議会を地域の方に知ってもらう良い機会になりました。子どもの世帯への訪問活動は初めての試みで準備などが大変でしたが、活動に携わったメンバーはやってよかったと思っています。今後も人と人とのつながりづくりを目指し、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちになることを願います。

入学・進学のお祝いを兼ねてお渡ししたマスク



社協の名前入り



目標2 支え合い活動の促進、担い手の育成・支援

居場所の魅力 ～ありのままの姿がいい～

人と人とのつながりが生まれる「居場所」は、ありのままの自分を受け入れられ、参加する人の価値観が尊重され、自分の存在を認識できる場です。自分らしく過ごせることが安心感や信頼感につながり、楽しい場所が助け合う場所に発展します。そんな居場所が東山区にはたくさんあります。詳しくは当会ホームページで紹介しています。



「居場所の魅力を知る」講座



中途障害者の交流の場「ふれあい会」



地域の居場所「本四カフェ」

目標3 地域福祉推進委員会の展開とネットワーク構築

子ども・高齢・障害などの分野を越えて、地域課題に対する意見交換を行っています。今年度は東山区地域福祉シンポジウム「認知症とともにあゆむ」をテーマに、認知症の人と一緒に行うまちづくりを考えました。



目標4 課題を抱える人への支援を通じた理解と連携

子どもの支援に関わる人たちで集まり、不登校などの「しんどさ」を抱える子どもたちの居場所づくりについて話し合いました。地域ぐるみでできることについて、区民のみなさんからも提案・意見をお待ちしています!



目標5 推進のための基盤整備

地域福祉を推進するため、区内の新たな取り組みへの支援として今年度はオンラインでラジオ体操が始まりました。

